

拓の会ニュース VOL.65

2026 年 8 月 5 日

拓の会例会予定8月

1G	■日 時:8月18日(火)19:00 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:毎日、気持ちよく働くためには ■話題提供者:小春日和 代表 中岡 千香子氏
2G	■日 時: ■会 場:	■テーマ: ■話題提供者:
3G	■日 時:未定 ■会 場:未定	■テーマ: ■話題提供者:参加者全員
4G	■日 時:8月19日(水)19:00～ ■会 場:同友会事務所	■テーマ:前回の復習、資金繰り表の活用 ■話題提供者:参加者全員
5G	■日 時:8月20日(木)(予定) 19:00～ ■会 場:同友会事務所	■テーマ:Dマトリックスを職場でどのように活用するのか? ■話題提供者:参加者全員
6G	■日 時:8月6日(木)19:00～ ■会 場:同友会事務所	■テーマ:がん治療とお金のはなし ■話題提供者:(株)創陰 代表取締役 坂本 健和氏
7G	■日 時:8月25日(火) ■会 場:(株)大野ファーム.	■テーマ: ■話題提供者:
8G	■日 時:8月10日(月)18:30 ■会 場:同友会事務所	■テーマ:8の会と、生成AIと、なんだかんだの1年 ■話題提供者:パソコンスマホ教室 ちよびパソstyle 代表 山口 幸子氏
9G	■日 時:8月4日(火) ■会 場:夢の北広場 とかちピアガーデン	■テーマ:地域及び街中活性化～市内中心部視察～ ■話題提供者:参加者全員

拓の会例会報告(7月)

<第1グループ>

◆日時 7月23日(木) 19:00～21:00

◆テーマ 経営者は本を出すべきか？ ◆報告者 (株)クナウパブリッシング 代表取締役社長 高原 淳 氏

◆記録者 南 将太

にかまけて後回しにしがちだが、できるだけ早いうちに残しておかなければならないと強く感じている。皆も同じように思っているはずだ。

きっかけは自分の父の話だ。父は昭和17～18年頃に召集されて関東軍に入り、満州へ渡った。戦後は3年ほど抑留生活を送り、昭和23年頃に帰国したというが、どこの港に上陸したのかといった肝心な部分を、くだらない話だと聞き流してしまい、結局本人が亡くなって今はもうわからない。それが今になってとても気になっている。

会社についても同様で、統計がまだきちんと整っていなかった時代、3代目あたりの創業初期の肝心な出来事がすっぽり抜け落ちていて、決算書を見ても当時の実情まではわからない。頭の中の記憶だけでは新人時代の仕事の内容ひとつも曖昧になってしまう。今は携帯電話などで簡単に記録が残せる時代だが、昔は鉛筆一本で書き残すしかなく、そうした古い資料の断片からもヒントを得て、当時の様子を再現することはできるはずだと思う。

だからこそ、自分を含め会社に関わった人たちの記録を、今のうちになんとか残していきたい。あわせて、北海道・十勝の成り立ちについても、地域には外部からの人々の入植や開拓に関わる歴史的な経緯があったようだと触れつつ、かつては知名度が低かった十勝も、時代とともに少しずつ認知されるようになってきたと感じている。



<第2グループ>

◆日時 7月24日 金曜日

◆テーマ ゲームを通して見える世界が変わる～話題のボードゲームカフェへ突撃～

◆報告者 参加者全員

◆記録者 塚本湧貴

今回の例会は同友会事務所近くにある、ボードゲームカフェ the Lit 様にて行いました。ただ遊ぶだけではなく学びも得るため、「コミュニケーション～相互理解」「瞬間的な反応や視野の拡大」「相手に対して思考を巡らせる心理戦」の3つのテーマを事前にthe Lit様にお伝えし、テーマに合うボードゲームをご用意していただきました。

ご用意いただいたゲームの中にあった「ヒトイロ」と言うゲームは、色の名前が書いたカードをそれぞれ持ち、お題のカードのお題(ご飯ものの食べ物や車に関するものなど)をもとに出題者が色を揃えられそうなテーマを決めた後、各自が連想した色のカードを出し、全員で揃えるゲームで、やってみると自分が共通認識と思っている色と他の人の認識が違い、とても面白いものでした。

今回の例会ではグループ内での交流もでき、自分の言葉を他者がどういう風に受け取り思考するかをゲームとして楽しく考えることができ、とても良い回となりました。



<第3グループ>

◆日時 7月29日 水曜日

◆テーマ 「あなたの十勝の一押し教えてください」

◆報告者 参加者全員

◆記録者 津田 祥平

先日、焼き鳥なかしま様にご協力いただき、例会を開催しました。今回は、地元で長年愛され続ける焼き鳥なかしまの店主にもご参加いただき参加者それぞれが地域や、十勝以外の地域についても幅広く意見交換を行いました。話題は、十勝ならではの食文化やお店が中心で店主がおすすめしたいお店等も教えていただきました。「十勝を訪れた方に最初に勧めたい場所や食べ物」「地元だからこそ知っている魅力」などについて活発な談義が交わされました。店主からは、長年飲食店を営む立場だからこそ感じる地域の変化や、観光客・地元客との交流を通じて見えてきた十勝の魅力について貴重なお話を伺うことができました。また、飲食店が地域の交流拠点として果たす役割についても意見が交わされ有意義な時間となりました。終始和やかな雰囲気の中で、それぞれが十勝への愛着や誇りを改めて感じる機会となり、「地域の魅力は人から人へ伝わる」ということを再認識する会合となりました。今後も、このような交流を通じて十勝の魅力を再発見し、その価値を多くの方へ発信できるようになりたいと思います。



<第4グループ>

◆日時 7月15日水曜日

◆テーマ 決算書を読もう

◆話題提供者 株式会社安藤建設 代表取締役 岡村正治氏

◆記録者 的場

前回の「経営者の為の会計基礎知識」の内容をおさらいをした後、岡村氏から自社の決算書の内容を記録・分析できるExcelシートを共有していただきました。このシートはB/S, P/Lの数値を入力するだけで、さまざまな財務指数が自動で算出され、経年比較もできるという大変優れたもので、自社の安全性、収益性が数字で可視化できるほか、銀行が与信判断の際にみているポイントなどの情報も入っています。これを岡村氏ご自身で作られたと伺い大変驚きました。

早速、いただいたExcelシートに自分の会社の数値を入力してみました。今まで、会計事務所から渡される印刷資料に目を通すだけでしたが、自分の手で勘定科目や数値を入力することで、自社の決算書をより深く理解できることを実感しました。



<第5グループ>

◆日時 7月16日(木)

◆テーマ これまでの振り返りと交流

◆報告者 参加者全員

◆記録者 佐々木賢一

今回は前回、前々回に参加できなかった人のために、簡単な振り返りを行った。その後、自社のDマト導入事例を出してもらった。質問でも出ましたが、Dマトを社員にやってもらうのに抵抗はなかったのか？意外と快くやってもらえたようで、やってもらうための言い方を工夫すればいけそうな気がした。事例は2つあがったが、概ね予想通りの結果となったようで、人を見る目が養われたようだ。今後はそれを活用し、タイプ別の指示の出し方、褒め方、叱り方等を実践する予定。その後は今後のざっくりした方針と、やりたいこと、知りたいこと等を飲食しながら歓談した。次回は離職予防士の嶋田先生との調整次第ですが、4タイプ(直感派、合理派、協調派、分析派)についてロールプレイングを行う予定です。(内容は正確に把握できてなくてすみません)



<第6グループ>

◆日時

◆テーマ ◆報告者

◆記録者

<第7グループ>

◆日時 2026年7月13日(月)13:30集合、15:00～YouTubeライブ配信

◆テーマ みんな知っているあのお土産も！やりたいを叶えてくれる、まだ知られざる菓子メーカーの秘密に迫る！

◆報告者 (有)南製菓 南 将太 氏

◆記録者 澤田 俊一

第3回の勉強会では、まりもの古里羊かんをはじめとする北海道土産の多くを手掛ける(有)南製菓の南将太氏にお話を伺いました。「南製菓」という社名を意識する機会は少ないかもしれませんが、道内の主要な土産店・道の駅・ホテルの温泉まんじゅうまで、実は数多くの人気商品を陰で支えている、OEM開発力の高い会社です。りんご農家が直接会社を訪ねてきたことから生まれた「りんご羊かん」では、酸味がペクチンの凝固を妨げる性質を逆手に取り、酸味を抑えつつ果肉感を残す独自の配合を編み出した開発秘話も紹介されました。その他にも、じゃがいも農家からの依頼で、じゃがいもの風味をほぼ100%そのまま残した羊かんを商品化した挑戦も紹介されました。糖度で保存性を保ちながら甘さは水飴で調整するなど、お菓子作りに込められた科学的な工夫にも一同感心しきりでした。グローバル化が進む時代だからこそ、その土地の生産者と結びついたローカルな一品が旅の思い出になるという南氏の言葉が印象的な回となりました。

配信動画: <https://www.youtube.com/watch?v=xCDh5aJlp7c>



<第8グループ>

◆日時 2026.7.9 (木) 18:30～

◆テーマ 自社のAI導入事例について ◆報告者 山田 泰生

◆記録者 山口幸子

勉強会では、ExaWizards社の「exabase」というAI導入サービスの紹介がありました。企業向けに生成AIを業務に組み込むためのサービスだそうです。

実際に導入された方からの報告では、思ったより出力の文字数が少ないという声がありつつも、価格はそれほど高くないという評価もあり、コストと使い勝手のバランスについて意見が交わされました。

そこから話が広がり、参加者それぞれの生成AI活用法を共有する時間になりました。業務会議の内容を文

字だけでなくイラストで分かりやすく整理している方の工夫や、日常生活でAIを使いやすくするための設定の工夫など、すぐ真似できそうな実践的なアイデアがいろいろと出てきました。

最後には、最近の生成AIは回答の精度がかなり良くなってきているという声も上がり、日々の進化を感じる回となりました。

【ご紹介】(山口がとても良いぞ！と思ったので勝手に紹介)

北海道大学デジタルリスキリングプログラム(無料)



<https://drep.jp/>「新しい時代の読み・書き・そろばん」

詳細は、坂口さんまで

<第9グループ>

◆日時 2026.07.13(月)19:00～21:00

◆テーマ 企業継続術～事業承継・人材確保・多角経営～ ◆報告者 全員

◆記録者 近藤

・企業継続について事業承継・人材確保・多角経営の3項目について情報交換を行った

・事業承継については、親族承継、親族外承継、M&Aについて情報交換

・自分の息子等の親族に承継させたいと思い、会社に入れたがイマイチな感じもあって困っている。感覚が社員と同じで経営者としての自覚が無い



・晩婚化が進み、自分の子供が小さく後継者に考えるまでに時間があり過ぎて、その間どうするかという問題もある

・M&Aは最近多くなっている。後継者が不在だが社員が居る為、営業を続ける為にも自社を売却するというのが増加している

・M&Aにおいて、合併後に隠されていた問題が出る場合がある。M&Aセンター等を通すと購入金額に見合わない手数料を提示される場合が多い。今後ますますM&Aは増加していくとの見解となった。

・人材確保は通常の募集ではなかなか人が来ない。大手の企業では中途採用に関して、紹介報奨制度を行っている所が増えてきている。紹介者した方もされた方も入社が決まれば報奨金が出る。しかし直ぐ辞められたら困るので、1年働いたらいくら、2年働いたらいくらと勤続年数に達した時点で支払われるとの事。

・人材紹介で紹介を受けてそこそこの金額の手数料を払ったとしても良い人材とは限らない。

・M&Aにて人材確保という方法もある

・多角経営については、補助金等を有効活用し、本業をしっかりとした上で行わなければハイリスクであって、本業すらも危うくなる。いろいろな事に出す事によって失敗し、倒産等に追い込まれた例が身近にもある。